

2023年度 うめ（南高）防除暦

(株) 山東農園

[フリーダイヤル] 0120-09-9393

[FAX] 073-478-2655

防除時期	対象病害虫	防除薬剤	倍数	使用時期/使用回数	備考
1 2月 (休眠期)	各種病害虫	石灰硫黄合剤	7倍		
開花前	ハナムシ・アブラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤	2000倍	前日/3回	○多発園のみ
満開後	灰色かび病	ロブラール水和剤	1500倍	45日前/2回	
3月上旬中 (がく落ちまで)	かいよう病 アブラムシ類	I Cボルドー66D モスピラン顆粒水溶剤	50倍 4000倍	葉芽発芽前/ 前日/3回	
3月下旬 (発芽期)	黒星病・すす斑病	ベルコート水	2000倍	30日前/3回	○かいよう病にはアグレプト水和剤1000倍 (90日前/2回) も可 ただし、使用前日数と回数に注意!! ○ロディー水の散布は養蜂巣箱撤去後に
	かいよう病	マイコシールド	1500倍	21日前/4回	
	ハナムシ・アブラムシ類	ロディー水和剤	4000倍	7日前/3回	
4月上旬 (幼果期)	灰星病・黒星病・すす斑	ナディーボ F	2000倍	前日/2回	○ウメシロカイガラムシ・アブラムシ・ハダニ類には モベントフロアブル2000倍 (7日/3回) 4月下旬に散布 ※混用順 モベント F → アグレプト水 または マイコシールド ○すす斑症にはオーソサイド水和剤800倍 (21日前/3回) も可 ただし、高温 (25℃以上) や多湿時の薬害に注意 ○黒点症・油揚げ症対策および降雨が多いと予測される場合は グッドパートナー25の加用が良い
	かいよう病	スターナ水和剤	1000倍	7日前/3回	
4月中旬 (果実肥大期)	黒星病・すす斑病	デランフロアブル	1500倍	14日前/2回	○すす斑症にはオーソサイド水和剤800倍 (21日前/3回) も可 ただし、高温 (25℃以上) や多湿時の薬害に注意 ○黒点症・油揚げ症対策および降雨が多いと予測される場合は グッドパートナー25の加用が良い
	かいよう病	マイコシールド	1500倍	21日前/4回	
	ケムシ類・コスカシバ	フェニックス F	4000倍	前日/2回	
4月下旬 (果実肥大期)	黒星病・すす斑病	オーソサイド水和剤	800倍	21日前/3回	○黒点症・油揚げ症対策および降雨が多いと予測される場合は グッドパートナー25の加用が良い
	かいよう病	マイコシールド	1500倍	21日前/4回	
5月上旬 (果実肥大期)	黒星病・すす斑病 カイガラムシ類	デランフロアブル アプロード F	1500倍 1000倍	14日前/2回 7日前/2回	
5月中下旬 (青梅収穫直前)	黒星病・すす斑病	スコア顆粒水和剤	2000~3000倍	前日/3回	
	カメムシ類・ケシスイ	ダントツ水溶剤	2000倍	前日/3回	
6月上旬 (漬け梅収穫直前)	黒星病・すす斑病	スコア顆粒水和剤	2000~3000倍	前日/3回	○ケシスイ、クビアカツヤカミキリ対策として モスピラン顆粒水溶剤 2000倍 前日/3回
7~8月 (収穫後)	ケムシ類	ロディー水和剤	2000倍	7日前/3回	○多発園のみ
9月上中旬 (収穫後)	ウメシロカイガラムシ	アプロード水和剤	1000倍	収穫後落葉前/2回	○多発園のみ ○コスカシバ、キクイムシ (休眠期) には ガットキラー乳剤100倍 落葉に注意

●クビアカツヤカミキリ幼虫対策としてフラス (木くず、虫ふん) の発生が確認されたら樹幹・樹枝の食入孔へのロビンフード (前日/5回) を噴射しながら注入する。

※太文字および下線部分が昨年の防除暦からの変更点になります。